

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ライブラリ淵野辺	階数	地上3F
建設地	神奈川県相模原市中央区相生一丁目1953番1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2015年8月 竣工	評価の実施日	2016年4月1日
敷地面積	1,629 m ²	作成者	(株)ジー・キューブ設計事務所
建築面積	805 m ²	確認日	2016年4月1日
延床面積	2,070 m ²	確認者	(株)ジー・キューブ設計事務所

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項

総合	その他
高効率な設備機器を導入するなど省エネルギーに努め、施設利用者が安全で安心して利用できる施設計画とした。	特になし
Q1 室内環境 居室の開閉部を大きくするなど自然光の効率的利用に配慮。 化学汚染物質の発生抑制に配慮した材料の選定に配慮。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い材料の採用や設備の機能性や更新性を考慮した設備材料の選定など、建物の維持管理に配慮。
Q3 室外環境(敷地内) 敷地周辺や建物の植栽条件に応じた緑地を計画。	LR1 エネルギー LED照明設備を採用するなど高効率な設備機器を導入し、エネルギーの効率的利用により環境負荷への低減に配慮。
LR2 資源・マテリアル 自動水栓や節水器具を採用するなど水資源の保護に配慮。	LR3 敷地外環境 近隣周辺への風通しや熱的な影響に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される